

令和4年 網走市議会
文教民生委員会 会議録
令和4年7月20日（水曜日）

○日時 令和4年7月20日 午前11時09分開会

○場所 委員会室

○議件

1. 行政視察の取りまとめについて

○出席委員（5名）

副委員長	近藤憲治
委員	石垣直樹
	金兵智則
	工藤英治
	澤谷淳子

○欠席委員（1名） 松浦敏司

○議長 井戸達也

○委員外議員（0名）

○傍聴議員（2名）

永本浩子
村椿敏章

○事務局職員

事務局長	林幸一
次長	石井公晶
総務議事係	早渕由樹

午前11時09分開会

○近藤憲治副委員長 それではただいまから、文教民生委員会を開会いたします。

まず、松浦委員長から欠席の届出がございましたので御報告をいたします。

委員長に代わりまして、私が進行させていただきます。

本日の委員会ですけれども、行政視察の取りまとめです。

先日、遠軽町での行政視察につきまして、既にレポートを提出いただいておりますので、皆さんから所感を述べていただきたいと思います。

○石垣直樹委員 自分も書いていますとおりののですが、本当によかったなと思っています。

焼却炉はメンテナンス費が高いというふうな話を聞いておりましたが、実際お話を伺うと年間3,300万円で、今網走市が一部おむつを女満別に焼却依頼している額よりも低いメンテナンス費用で、焼却炉が運営できるということがわかったのが本当に大きかったと思います。

以上です。

○澤谷淳子委員 私も書いてあるとおりののですが、本当にちょっとこう、私ああいう現場を初めて見たのもあるのですが、余りに網走と違い過ぎて本当にショックを受けるくらい進んでいるというふうに捉えてしまいました。

ただ、CO₂の問題が業者の方からは特に何か該当してないのではないかみたいなことがあったので、やっぱりちょっとその部分の検討が必要なのではないかなと思ったのですが、今後、この広域焼却ということを考えていく上では、大変参考にさせていただきました。

あと、実績を重んじて、それをすることを決めたと担当の方がおっしゃったので、それもすごく参考になりました。

以上です。

○工藤英治委員 設備の問題は、埋立方式と焼却方式の違いで、規模、その他、大きく違うとは思いますが、本当は肝心なことを聞かなかつたな、なんて自分では思っています。

というのは、これからの時代の大型ごみの処理方法がもっともっと改善できるのかなと思ったり、それから、余りにも網走の場合、各道路においてのごみのポイ捨ての多さ、この処理はどのように今後していくのかなど。

そして、遠軽町ではどのようにしているのかな、なんて、そんな疑問を感じたりして、それは償却、分別の簡易、簡便にしたことよってのポイ捨てが減ったのかどうか。

そこら辺のデータがあったものかどうかもちょっと後になって知りたいな、なんて思った。

そんなことぐらいかな。

○金兵智則委員 改まって、今回視察の準備を整えていただいた委員長、副委員長並びに議会事務局の皆さんには感謝を申し上げたいというぐらい、大

変有意義な視察だったのかなというふうに思います。

詳細についてはレポートとして出させていたでいますので、そちらを見ていただければいいのかなと思いますけれども、焼却の利点という部分については、皆さんがおっしゃられているとおりでいうふうには思います。

そのまま網走が焼却でいくかどうかは、また別問題だとしても勉強になったのかなと思います。

ただ、1点思ったのが、分別のルールが3町でまだ統一されていないといったような部分であったり、プラの分別が変わったという、今、網走市の最終処分場が早く埋まってしまうといったところで、その分別の部分についてはより積極的に掘り下げつつも、スピーディーな対応を市民にお願いするようなことができるようにしていかなければいけないのかなというふうに感じた視察であったのかなというふうに思います。

○近藤憲治副委員長 ありがとうございます。

それでは私からもお話をさせていただきますが、所感につきましてはレポートで提出をさせていただいたとおりですけれども、現場での質疑でもお話をさせていただきましたが、遠軽町はこのクリーンセンターを建設する前から既に一部事務組合が存在をしていて、長い時間をかけて周辺の町々との信頼関係が積み上げられてきているというふうに感じました。

その信頼関係があっても、また建設用地があっても、やっぱり7年の時間がかかったというお話でありました。

そう考えていくと、今、網走市議会で示されているあらあらのスケジュール感で、令和10年稼働という数字が出されていますが、それが果たして、その現実味を持つものかという、一抹の懸念がさらに積もったところもございます。

あわせて焼却のですね、カーボンニュートラルの関係で、廃熱利用または発電というのが環境省から言われているのですけれども、廃熱利用がですね、思ったよりはできないのだなという所感も持ちました。

現実的には、施設内の温水利用、暖房利用、また周辺のロードヒーティングのような、水準に留まるのだなというところもあってですね、そこはもう少し考えていく必要があるのだなという印象を持ったところでもあります。

以上です。

それでは、各委員の皆様からお話をいただきましたので、最終的に、この視察についての取りまとめといたしましては、このレポートをですね、議長に提出をさせていただいて、調査報告にかえるということでもよろしかったでしょうか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

それでは、そのように扱わせていただきます。

また、あわせまして、提出していただきました報告書を体裁を整えまして、ホームページへ掲載するというのもよろしいでしょうか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

確認をさせていただきました。

行政視察の取りまとめについては以上で終了いたします。

○近藤憲治副委員長 次に、10月に行う予定の行政視察の準備状況についてお話をさせていただきます。

こちら別添の資料で、あらあらの日程も掲載をさせていただいておりますが、まず10月6日に松山市を視察したい旨、事務局からですね、連絡を先方にしていただいておりますけれども、松山市の取決めとして、視察申し込みは2か月前からということになっておりますので、まだ松山市に行けるかどうかわからない状態です。

ですので、8月5日に、再度、先方から連絡を頂いて、最終的に確定をするという流れになろうかと思えます。

あわせまして、香川県の三豊市と観音寺市につきましては、視察の受入れをオーケーということで頂いております。

あわせまして、質問事項を頂戴したいと先方から連絡が来ておりますので、各委員からですね、質問事項、こういうことを聞きたいということを事前に出していただいて、正副委員長で取りまとめて先方にお届けしたいと思えます。

質問事項につきましては、ラインワークスで、委員会のグループの中で、適宜御発言をいただいて、この町のこの施設のこういうことを知りたいというような形で、質問事項を出していただきたいと思えますので、よろしくお願いをいたします。

よろしいでしょうか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

視察の準備状況につきましては以上でございます。

す。

○近藤憲治副委員長 続きまして、前回の委員会で御議論をいただきました、委員会独自の検証及び反省の文案を整えまして、第一次の取りまとめとして公表することと、前回、お話をさせていただいて、整えましたので内容を御確認いただきたいと思いません。

いかがでしょうか。

○澤谷淳子委員 いつもまとめていただきまして、本当にありがとうございます。

最後の、「上記の各項目に沿って当該事象の経過、背景、原因についてさらなる調査を要する」という、ここまで入れて公開するということですよ。

○近藤憲治副委員長 そうですね、前回御議論いただいた中では、結局なぜこういう状況が生じたのか、まだ、調べてみないとわからないというお話もございましたので、このような文言を載せた上で、第一次の取りまとめとさせていただきます。

○澤谷淳子委員 前回の委員会で、理事者も入れている話し合いで、今後、例えば個別の、何て言うのでしょうか……議題があったときはまた答えてくれるというようなことも書いてあったので、そういうような、何かこれだね、永遠に終わらない、調査がずっと続くようなイメージがあるので、あのときに言った、個別なものについては、また、資料の提出をしていただくとか、答えてもらうとか、そういうような文言に変えることはできませんでしょうか。

第一次取りまとめと書いてあるので、今後、第二次、第三次もあるという形ですよ、このままだと。

違いますかね。

○近藤憲治副委員長 そうですね。

○澤谷淳子委員 そうなると、いつまでこれをやっていくのかというのもちょうとやっぱりあって、今も視察とかも今後入ってきて、ちょっとより具体的に皆さんもこういうふうにしていきたいというビジョンもだんだん出てくると思いますので、これをいついつまでに、事務としても取りまとめはここまでにしましょうというようなものはあったほうがいいと思うのですけれども、いかがでしょうか。

○近藤憲治副委員長 いかがでしょうか、委員の皆さん。

○工藤英治委員 改めて言うほどではないけれど

も、正直言ってこの問題はいつ終わるとかというね、これは答弁の仕方でもそうだったしね、質問するたびにまたやりますというのはね、言い方でしょ、答えが。

いつ終わるという取りまとめの最終を、文言というのは難しいのではないのかね。

○金兵智則委員 今、多分工藤委員がおっしゃったのが正直なところだと思います。

多分、第一次取りまとめとなっているので、これをまとめつつ、今後多分進んでいく議論の中で、例えば、埋立ごみの資源物混入分別率6割というのが、もし計画として出てきたときに、それはそれでいいのかというチェックになっていくのだと思うのですよね。

これは、その中で、例えばこの中の文言をまた変えるような必要性が出てくれば、また変えると言ったような形になるので、そういうことなのではないのかなというイメージしか、今、また向こうが何か言ってきたときに、これを基に確認をしつつ、それでまた、ここに書き加えられていくのか、それとはまた別の話になっていくのか、そのようなニュアンスとして使っていくものになるのかな。

だから、二次がいつとか、三次がいつ、最終がここですとかいうのをやっていると、これだけに固執してしまうようなイメージになってしまうのかもしれないですけども、そういったものでは多分、ないのではないのかなという気がします。

○澤谷淳子委員 前回も言ったのですけれども、こちらの文教民生委員会としての検証と反省は、本当に一つ一つよく書かれていて、これが、工藤委員がおっしゃったようにチェックリストになると私も思っています。

次に決めるときに、こういう観点からも考えていかなければいけないという、ものすごく、そういう意味では、チェックリストに本当になっていると私も思っています。

ただ、これがずっと何か、何て言うのでしょうか、一応、市側としても検証と反省が、こちらから見たら不十分だと思った方もいるかもしれませんが、市としても出してきた、委員会としてもこれを出す、だからそれが永遠にいつまでも、いつまでも、これを常にこう言ったから、ああだったというのを、本当にそれがずっと続いていいものなのかというのが、ちょっと私も決めかねているところで

どなたか御意見聞かせてください。

○石垣直樹委員 恐らく澤谷さんがおっしゃっているのは、これがあって、今後どうなっていくのかがスケジュール的に先が全く見えないから、そこを明確にする必要はあるのではないかというお話だと思うのですよね。

私も、これを結論がない、終わりはないのかもしれないかもしれませんが、これをつくって公表しました、その後どうしていくのかが先がちょっとよく見えてきていないので、そこは委員会として、スケジュール感をしっかりと精査するべきだと思います。

別にこの検証とはほかに、今後のごみ処理場について、話を進めていくというのはわかるのですが、今のやり方だと、これが終わらないと、ちょっと次に進めないのかなというような見え方がしますので、委員会としての調査のスケジュール感を明確にしてほしいなと思いますね。

○近藤憲治副委員長 暫時休憩します。

午前11時26分休憩

午前11時50分再開

○近藤憲治副委員長 再開をいたします。

休憩中るる御議論いただきましたけれども、網走市のごみ処理方式の破綻に対する、網走市議会文教民生委員会独自の検証と反省につきましては、文案につきまして一部修正、整理が必要な部分が生じました。

また、今日は松浦委員長が欠席をされているということもありましたので、頂いた御意見をもとに文案を修正し、改めて御確認をいただく場を持ちたいと思いますが、そのような進め方でよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

確認させていただきます。

あわせて、事前に皆様に確認をしておきますが、この検証と反省、完成後は、一つは網走市議会ホームページへの掲載、また、二つは各報道機関への周知伝達という手続を取らせていただいてもよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

そのように確認をさせていただきました。

本日の議件は以上でございます。

暫時休憩いたします。

午前11時51分休憩

午前11時53分再開

○近藤憲治副委員長 再開いたします。

休憩中、御議論いただきましたけれども、皆様、御納得をいただきましたようですので、以上をもちまして、文教民生委員会を閉会いたします。

御苦労さまでした。

午前11時54分閉会